学校番号	T0308

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史 A」　（山川出版社）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史的思考を持ち、多様な考え方を整理する力を養う。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・日本の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・我が国の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に関する問題意識を持ち、意欲的態度で追究し、国際社会に主体的にかかわる日本国民としての自覚を持ちその責任を果たそうとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から多面的・多角的に考察し、国際社会の諸問題を公正に判断し、その過程や結果を適切かつ合理的に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 ワークシートの完成度	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世社会の動揺と近代への胎動	・身近な資料から ・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え	○	○ ○	○ ○	○	a:身近な日本近代史にまつわる資料を提示し、現在とのかかわりを考えさせることで、歴史を学ぶ意義を感じられたか。 b:幕府・諸藩の経済的窮乏や一揆の頻発に着目し天保期の幕府・諸藩の政策を考察できたか。 c:農村家内工業からマニュファクチュアの形成課程が考察できたか。 d:洋学・国学などの新たな批判的学問の形成などの動きを近代化の芽生えとして統一的に考察できたか。	定期考査 ワークシート 主題学習
	開国と明治維新	・日本をとりまく世界の変容 ・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:列強の進出の強まりとともに、幕府の鎖国政策が次第に動揺を深めていく過程が理解できたか。 b:日米和親条約・日米修好通商条約の変化と政局に与えた影響を理解できたか。 c:幕末の政局の展開を、高まる外圧と民衆の動向に関連付け理解できたか。 d:版籍奉還・廃藩置県により統一的国家が形成された意味に注目できたか。	定期考査 ワークシート
	立憲国家の成立	・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化 ・自由民権運動	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:征韓論争・明治六年の政変・西南戦争までを一連の政治過程として考察できたか。 b:最初の対等条約である日清修好条約と日本が押しつけた日韓修好条規のちがいに注目できたか。 c:「文明開化」の諸相から当時の性急な西欧模倣策に注目できたか。 d:松方財政によるデフレーション、農村不況が民権運動の急進化の背景であったことを理解できたか。	定期考査 ワークシート

2学期	立憲国家の成立	・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a：政府による憲法制定作業の過程を考察し、完成した憲法が一方的に政府により与えられたものである事を理解できたか。 b：立憲政友会の成立から桂園時代の開幕に至る過程について、軍備拡張の視点をふまえ考察できたか。 c：民間主導部門の発展と国家による産業基盤整備・重工業育成にも着目し、資本主義成立過程を総合的に考察できたか。 d：国家主義的な思想の形成、欧米の科学技術の導入、高い識字率を誇る教育の拡充に着目し、国民が主体的に文化創造に取り組んだ姿勢を考察できたか。	定期考査 ワークシート
	第一次世界大戦・第二次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・経済社会の変容 ・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭 ・日中戦争 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：大正政変以後、政党の勢力が国民的統合において中心的役割を果たすようになる事情を理解できたか。 b：震災手形や金解禁など、恐慌の展開を把握するための不可欠な経済用語を理解できたか。 c：社会主義運動の高まりと、これに対する徹底した弾圧の動きを、緊迫する内外情勢と関連させて考察できたか。 d：軍の一部のクーデター後、さらに軍の政治介入が強まった原因と日本がアメリカとの戦争に踏み切った原因を、経済的・政治的観点から総合的に考察できたか。	定期考査 ワークシート

3学期	戦後日本の歩み	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・55年体制 ・高度経済成長期の経済と社会 ・石油危機	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ 	a:労働三法・教育基本法の制定等、五大改革をはじめとするGHQの諸政策が戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気づくことができたか。 b:中華人民共和国の成立や朝鮮戦争の勃発等による占領政策の転換について考察できたか。 c:自由民主党の成立から経済成長を背景とした保守政権の誕生に至るまでを外交・政治・経済を踏まえ多面的・多角的に考察できたか。 d:産業構造の高度化などを踏まえ、開放経済体制のもとでの日本の動きを考察できたか又、消費の拡大や公害などの社会門だいの発生について理解できたか。	定期考査 ワークシート
	現代の世界と日本	・冷戦の終結と日本 ・日本社会の動揺 ・現代からの探求	○ ○ 	○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:冷戦終結後の東欧革命、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況を考察できたか。 b:原子力に対する安全性、国際平和維持活動への対応、経済不況に対する国内改革など具体的な例をもとに理解することができたか。 c:戦後日本農業の変遷を国民経済・国際経済との関わりのなかでつかむことができたか。 d:適切な主題を自ら設定し資料を活用して探求・解決する力を身につけたか。	レポート 振り返りシート 主題学習

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。